

令和2年度第3回県民モニター調査「食と健康づくり」

- 1 調査テーマ：「食と健康づくり」
- 2 調査対象者：県民モニター 2, 500名（県内に住まい又は在勤・在学、18歳以上）
- 3 調査期間：令和2年11月上中旬 [15日間]
- 4 調査方法：インターネットを利用し県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- 5 設問項目の概要

番号	設問項目	設問設定の目的（ねらい）	第3次食育推進計画の指標
Q1	健康づくりのために実践している取り組み	H27県民意識調査と同じ設問。 比較することで、県民の実態の推移を把握する。	×
Q2	朝食の摂取状況	H27県民意識調査と同じ設問。 比較することで、県民の朝食摂取状況の推移を把握する。	○
Q3	共食の状況	H27県民意識調査と同じ設問。 比較することで、県民の共食状況の推移を把握する。 新型コロナウイルス感染症による共食の変化を把握する。	×
Q4	栄養バランスに配慮した食生活	H28ひょうご食生活実態調査と同じ設問。 比較することで、県民の食事摂取状況を把握する。 主食・主菜・副菜を組み合わせた複合料理の考え方を追加説明した。	○
Q5	食事づくりの状況	H27県民意識調査と同じ設問。 比較することで、県民の食事づくりの状況の推移を把握する。	○
Q6	食育への関心度	H27県民意識調査とほぼ同じ設問。 比較することで、県民の食育への関心度の推移を把握する。	○
Q7	実践している食育活動	H27県民意識調査とほぼ同じ設問。 比較することで、県民の食育実践の推移を把握する。 第3次県食育推進計画のキャッチフレーズである「プラス1の食育実践」、第3次国食育推進計画の指標である「適正体重の維持、減塩」などを選択肢に追加した。	○
Q8	食文化の継承	H27県民意識調査と同じ設問。 比較することで、県民の食文化の継承への知識と技術力の推移を把握する。	○
Q9	災害時の食の備え	H27県民意識調査と同じ設問。比較することで、県民の災害時の食の備えの実態の推移を把握する。	○
Q10	新しい生活様式に伴う食生活の変化	本調査の新たな設問。 新しい生活様式に伴う食生活の変化を把握し、第4次食育推進計画の方向性を議論するための基礎資料とする。	×